

## FIRST PLACE

photo : saiko kodaka

Miele × nadoya

**FIRST PLACE** <Phase-1> 未来を、考える。

ドイツのプレミアム家電ブランド Miele（ミーレ）と、場づくりを軸に人の営みを考察し、交流ハブとして活動する nadoya（などや）は、共同プロジェクトとしてキッチンを据えた場をつくり、人々が集い、交わり、未来に向けて視界を開くプロジェクト「FIRST PLACE（ファースト プレイス）」をこの秋より始動します。

創業から 125 周年「Immer Besser（常により良いものを）」を理念として、受け継ぐべき家電をデザインし、届けてきた Miele。2020 年に活動をスタートし、都心の古い家を見つけては手を加えながら、庭、建物、そこに集う人々との交流の中で、社会や文化の変化にどう向き合うのか、問いや試みを提示してきた nadoya。分野も規模も異なる両社には、暮らし、建築の視点から、先を見つめながら、今、より良くあるためにと真摯に向き合い、時間をかけて、愛着を分断せずに継いで育てるという共通の姿勢があります。

社会が大きく変容する中、未来の人々の暮らしに思いを馳せ、これからを探していくための第一の場として、「FIRST PLACE」を立ち上げました。「未来を、考える。」と題し、さまざまな考えの対流から未来への向かい方を紐解き見つめる活動を積み重ねてゆきます。

つきましては、FIRST PLACE の場のお披露目とともに、本プロジェクトを理解を深めていただくべく、トークと食を取り入れたオープニングプレビューを開催いたします。

**OPENING SPECIAL PREVIEW**：2024 年 10 月 31 日（木）12:00 - 18:00 @ nadoya yoyogiuehara

\* R.S.V.P. | 詳細は別紙ご参照ください。

# FIRST PLACE

未来を、考える。

どんな未来がいいか  
明確には言葉にできない。

これから探していくために  
今、ここから始めたい。  
色々な立場から  
色々な考えを持ち寄り  
伝え合いながら、食べながら、探しながら。  
すぐに答えを出そうとするのではなく、  
動きながら、交わりながら。

都会の真ん中で  
古い一軒家をつくり変えながら  
人々を招き入れ、キッチンを囲み、  
未来を、考える「FIRST PLACE」Phase-1 を始めます。

Produced by Miele and nadoya

## ABOUT

東京都心にゆったりと庭木を宿し築 60 年を超える民家 < nadoya yoyogiuehara >  
週末には軒先のカフェに国内外から人が集い、ギャラリーではアーティストたちの展示が時折行われています。  
その一角、まだ公開されていなかった奥で、新しい活動「FIRST PLACE」が始まります。

2024 年 10 月末に始まる <Phase-1> は、「未来を、考える。」を、考えるとき。  
未来の人々の暮らしを、少しでもよくする、という意味をもって、今、何をすべきなのかを少しずつ紐解いていきたいと考えます。  
建築家や陶芸家、農や土に近い活動家、料理家や学者など、それぞれの眼差しが見つめる未来を交えてみる。  
そこから生まれた言葉や体験の中には、きっと、この先へと導く鍵が見つかると思っています。

FIRST PLACE の活動は、折々で変容していくでしょう。  
そうして対話し、交わり、伝え合うことで、新しい未来への考えが始められたらと願います。

<Phase-1> では、未来のために今を知ることが目的に、トークを軸にさまざまな立場の方々をお招きし、お話いただく場にできたらと考えています。トークショースタイルではなく、プライベートな雰囲気の中で語られる言葉を大切に、オンラインを中心とした発信を行い、不定期にてお客様の参加型のイベントも開催していきます。トークやイベントの様子は SNS や WEB を中心にアップしていきます。

## SPACE

建築家の岡村俊輔氏が、nadoya でも日頃から実践し、建築や場づくりにおいて常に大切にしている分解のプロセス。古い家屋を丁寧に分解して活用し、新しい機能を補いながら再構築する。本プロジェクトでも nadoya の解体した際にでる廃材や瓦礫、土や石などに手を加え、新たな役割と価値をあたえて、FIRST PLACE の空間に用いています。

FIRST PLACE の場となる <nadoya yoyogiuehara> の建物は、長いに年月をかけて増改築を繰り返してきた古い家屋。床や壁をめくると、80 年前の基礎であった床や地面、土壁が現れました。かつての地平からあらたな基準線を引いていく、コンセプト的な空間に。床をめくり現れた地下の空間、当時の建築基礎のコンクリートは、新たに造るキッチンカウンターに用います。古い家屋を丁寧に分解して活用し、Miele のビルトイン家電を据える。新しい機能を補いながら再構築した空間にご注目ください。



photo : saiko kodaka

## MATERIAL

素材 → 収穫 → 分解・調理 → 仕上がり

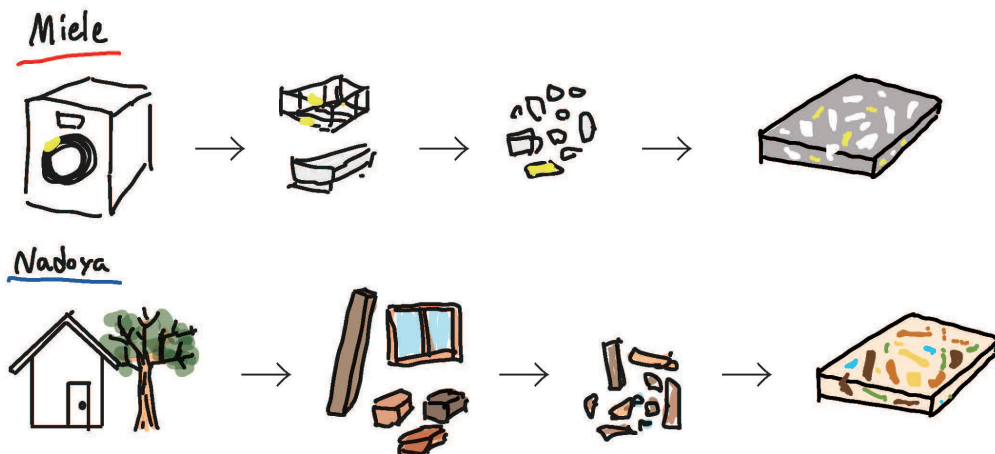


illustration : yuma kano

### 料理をするようにマテリアルをつくる

マテリアルリサーチなど実験的なアプローチやプロトタイピングを重視したプロセスでさまざまな物事をデザインする狩野佑真氏をゲストデザイナーに迎え、「料理をするようにマテリアルをつくる」ことをコンセプトに、Miele の役割を終えた機器や nadoya 改修の過程で生まれる廃材、土石など素材を採取し、混ぜ合わせ独自のマテリアルを制作します。完成したマテリアルは FIRST PLACE の場に溶け込むように配置されていく予定です。本取組は、できるだけ無駄を省いて廃棄物を減らし、良い素材をできるだけ長く使う、という、Miele がこれまで大切にしてきたことを、共通の意識を持って、繋ぐものです。

## OPENING SPECIAL PREVIEW :

---

FIRST PLACE の場のお披露目とともに、本プロジェクトを理解を深めていただくべく、トークと食を取り入れたオープニングプレビューを開催いたします。

プレビュー当日は、ゲストに陶作家・ギャルリ百草 主宰・安藤雅信さん、料理家ゲストに eatrip 野村友里さんをお迎えし、料理をつくるキッチンから漂う香りや音を感じながら、nadoya 岡村俊輔氏を中心に FIRST PLACE について、ゲストの方々が未来をどう見ているか、未来に込めていることなどお話を聞きたいと思っております。

nadoya が日頃から実施しているサロンのようなスタイルで、Miele が大切にしている食を囲み、ご来場いただくみなさまがカジュアルに交流し、対話できるような場にできたらと考えております。

日時 | 10月31日(木) 12:00 ~ 18:00

場所 | nadoya yoyogiuehara

東京都渋谷区西原3丁目19-3

### < TALK & TASTE FIRST PLACE >

オープニングトークは、13:00- / 15:00- / 17:00- 頃開催予定です。

トークにあわせて料理家・野村友里さんが FIRST PLACE のキッチンでお料理をしていただきます。

ぜひこの機会に食を囲み、みなさまとの交流を通して新しい未来へ考え始める場にできたら幸いです。

### | R.S.V.P. |

スペースの都合上、出欠を確認させていただきます。ご参加いただける際は、ご来場のいただけるお時間帯などご記入の上、10月21日(月)までに下記フォームよりお申し込みください。

ご参加フォーム：<https://forms.gle/CNtCVJHbh2ynf5wk9>

\* トークやお料理のお時間は前後することございますので、ご了承ください。

\* トーク以外の時間も自由にご覧いただけます。

\* オープニングプレビューは、nadoya yoyogiuehara 全体を会場に開催します。トーク用にお席のご用意はございませんので、思いおmoiの場で、お話お聞きいただけましたら幸いです。

\* お料理はなくなり次第終了となりますので、予めご了承ください。

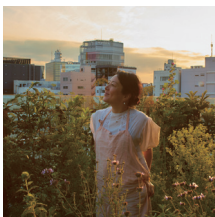
## OPENING GUEST PROFILE

---



安藤雅信 / Masanobu Ando

陶作家・ギャルリ百草主宰。1957年岐阜県多治見市生まれ。武蔵野美術大学彫刻学科卒。和洋問わず使用できる千種類以上の日常食器と茶道具、結界シリーズなど彫刻作品を制作。生活工芸を中心に海外でも個展開催。新しい茶の湯と交種茶会を国内外で催している。'98年古民家を移築し、生活空間を基本とした展示をするギャルリ百草開廊。企画展を通してアート・工芸・古道具の境界のない世界を展開。美濃焼のまち 多治見・土岐・瑞浪を舞台にしたアートプロジェクト ART in MINO「土から生える 2024」(2024/10/18 ~ 11/17) 芸術監督を務める。



野村友里 / Yuri Nomura

eatrip 主宰・料理人。東京都生まれ。おもてなし教室を開いていた母の影響で料理の道へ。ケータリングフードの演出や料理教室、雑誌での連載やラジオ出演などに留まらず、イベント企画・プロデュース・キュレーションなど、食の可能性を多岐にわたって表現している。2012年、原宿にレストラン「eatrip」をオープン(現在はクローズ)。2019年、表参道 GYRE 内にグロスアリーショップ「eatrip soil」をオープン。著書に『とびきりおいしい おうちごはん』(小学館)など。

## OUTLINE

---

プロジェクト名：	FIRST PLACE（ファーストプレイス）
場所：	nadoya yoyogiuehara 東京都渋谷区西原3丁目19-3
URL：	<a href="https://life.miele.co.jp/lp/firstplace/">https://life.miele.co.jp/lp/firstplace/</a> <a href="https://firstplace.nadoya.jp">https://firstplace.nadoya.jp</a>
SNS：	@firstplace.jp
PREVIEW DAY:	11月1日（金）～4日（月） *上記日程にて一般プレビューとしてFIRST PLACEの場をご覧いただけます。
主催：	ミーレ・ジャパン株式会社，株式会社なんぞ

## PROJECT TEAM

---

### Miele

創業125周年を迎える、ドイツのプレミアム家電ブランド。ビルトイン家電において、長く使い続けられるタイムレスなデザインと機能性を継承しながら、「Immer Besser（常により良いものを）」という一貫したポリシーのもと、革新を重ねる。変わらない価値と変わり続ける価値は、両輪となり Miele の活動を支えている。miele.co.jp

### Project Partner | nadoya (Syunsuke Okamura, Yutaka Endo)

建築家の岡村俊輔と、テクニカルディレクターの遠藤豊により、2020年から活動を進めてきた「場」であり活動体。代々木上原、恵比寿、島津山（五反田）…都心の庭付きの古い家屋を改修しては、文化的交流ハブとして機能させてきた。自然と建築のあり方、瓦や木材など本来の役目を終えた素材の再構築など、試みを重ねながら、変化し続ける。今回は「nadoya yoyogiuehara」を舞台に、新しい場づくりを進める。@nadoya.jp

### Guest Designer | 狩野 佑真 (Yuma Kano)

1988年生まれ。東京造形大学（デザイン学科室内建築専攻）を卒業後、アーティスト鈴木康広氏のアシスタントを経て、2012年に独立。実験的なアプローチによるマテリアルのデザインを得意とする。錆びの過程や木材、端材や廃材を見つめ、時の経過や変化の美、多様な生態といった概念をデザインに映し出す。自身のプロジェクトが企業やブランドとのコラボレーションへと派生し注目を集める気鋭のデザイナー。https://yumakano.com

プロジェクトディレクター：ミーレ・ジャパン マーケティング部 / nadoya・岡村俊輔

空間デザイン・建築ディレクション：岡村俊輔 (nadoya)

マテリアル・プロダクトデザイン：狩野 佑真

プロジェクトプランニング・コーディネーション：川村美帆 (デイリープレス)

編集・ライティング：森 祐子

WEBディレクション：小須田 英盛

WEBデザイン：伊藤泰久

## CONTACT

---

本件に関するご質問、取材に関するお問い合わせは下記までご連絡下さい。

PRESS CONTACT : daily press 川村 美帆 | 03-6416-3201 | 090-4063-3081 mihokawamura@dailypress.org